



★今月号のラインナップ

1. [ひろば](#)

信州型コミュニティスクールの推進

文化財・生涯学習課長 小野 光尚

2. [特集](#)

「少子・人口減少社会に対応した新たな学校づくり検討会議」について

義務教育課

3. [今、学校では](#)

長野県下の専門高校生が技術とアイデアで競う

「ROBOCON IN 信州」について
事務局 岡谷工業高等学校

4. [ご存知ですか](#)

○ながのスポーツスタジアムでクラスの仲間の輪をつなぐ

スポーツ課

○「冬の信州省エネ大作戦・2013」実施中！

○「レジ袋削減県民スクラム運動」実施中！

教育総務課

5. [イベント情報・お知らせ](#)

6. [あとがき](#)

県教育委員会では、これまで各学校と地域の間で築き上げてきたベースの上に、学校と地域が持続的に連携する仕組みを「信州型コミュニティスクール」（信州型CS）として整え、地域に開かれた信頼される学校づくりに取り組んでいます。

今、学校や地域を取り巻く厳しい社会情勢の中で、学校だけでは解決できない課題があり、家庭や地域の方々と連携することが必要不可欠となっています。

学校と地域が「こんな子どもを育てたい」という願いを共有しながら、一体となって子どもを育てる持続可能な仕組み、それが信州型CSです。

信州型CSでは、日頃から学校を支援しているコーディネーター・ボランティア、PTAや公民館の皆さんなどにも参加いただき、目指す子どもの姿や、学校の重点目標や課題等について、話し合っていたくこととしています。

学校は出された意見や要望を、学校運営に生かし、また、地域の方々には、学校から発信される情報を共有する中で、より効果的な学校支援をしていただくなど相乗効果が期待できます。

学校と地域の連携は、地域や保護者との信頼関係を高めるだけでなく、地域の方々の生きがいにもつながり、さらに、地域や家庭の教育力の向上にもつながると考えています。そして、何より子どもたちにとって、地域の人、もの、ことに触れることで地域への愛着を深めるとともに、豊かな成長につながると思います。

信州型CSの取組は、教職員はもちろん、保護者、地域の方々の理解と協力があってこそ可能となるものです。地域の実情に合わせ、子どもたちの未来のために、全ての学校が、信州型CSに取り組んでいただくことを願っています。



特集

「少子・人口減少社会に対応した新たな学校づくり検討会議」について 義務教育課

今年度、義務教育課が設置しました「少子・人口減少社会に対応した新たな学校づくり検討会議」につきましては、先に柳澤厚志義務教育課長が『ひろば』への寄稿（[教育ながの Vol. 609 参照](#)）で、会議の趣旨や初回の意見の一端をお知らせしましたが、今回は最近の協議の概略についてご紹介したいと思います。

去る 10 月 28 日に開催した第 3 回の検討会議では、8 月に実施した市町村教育委員会に対するアンケート調査の結果や、過去 2 回の検討会議の意見を基に議論が行われました。

アンケート調査で、少子・人口減少社会到来の実感、人口減少に対応した取組状況や課題、望ましい学校環境実現に対する支援等について市町村教委にお聞きしました。調査結果からは、9 割に近い市町村教委が学級数を減らすなど人口減少を実感していることが分かりました。人口減少に対応した取組を進める上での課題として、学校統廃合や小・中学校間の連携、小中一貫教育の実施、検討をしている市町村教委では、人的体制が十分とは言えない、地域住民等に様々な意見があるといった点が多く挙げられました。また、取組の必要性を感じながら検討していない市町村教委でも、人的体制の不足、参考となる情報不足を課題としている状況にありました。

これまでの検討会議で、深刻な少子・人口減少社会が到来し、予算、人員ともに少ない中でどのような学校づくりを行うか検討が必要、また、小人数のデメリットを補う方策として、学校間の合同授業、合同行事の実施、ICT 活用による交流等が考えられるなど、様々な指摘があり、アンケートから伺える市町村教委の認識や検討会議での意見を基に新たな学校づくりの方向性をお示しし、議論を深めていただきました。

新たな学校づくりに向けては、児童生徒が多様な考え方に触れ、互いに切磋琢磨できる学びや成長の取組を最優先に学校の役割を考える「スチューデント・ファースト」、学校を保護者や地域の方と共に育む「地域に開かれた学校づくり」、また、少人数の指導体制の開発に ICT を取り入れるなど、従来にない発想で小規模校の魅力を高める「人口減少社会を強みに転換」の三つの視点が大切との共通理解となりました。これらの視点をもとに、子どもたちにとって魅力ある新たな学校のかたちを信州型スクールモデルとして年度内に取りまとめ、信州発の新しい教育のあり方や学校のあり方を指針として策定する予定としています。

◆お問い合わせ◆

義務教育課 管理係

TEL : 026-235-7426

FAX : 026-235-7494

e-mail : gimukyo@pref.nagano.lg.jp

長野県下の専門高校生が技術とアイデアで競う「ROBOCON IN 信州」について 事務局 岡谷工業高等学校

平成 25 年 10 月 12 日（土）、下諏訪体育館にて「第 21 回 ROBOCON IN 信州 2013」が開催され、長野県内の専門高校生が創意を凝らし製作したロボット競技の熱戦が繰り広げられました。このコーナーではロボットコンテストの県大会ならびに全国大会の様子についてお届けします。

（大会目的）

長野県内の専門学科（工業）に学ぶ生徒の技術への関心を高め、創造する力や自発的な学習態度を育成することを目的としています。この競技大会は仲間とともに「アイデアを出し合い、加工し、組み立て、調整して、ものを作り完成させる」という喜びの場になっています。

（競技種目ならびに競技内容）

○キャリーロボット競技

3 分間の競技時間の中、ボール、空き缶、ペットボトル、電球などを運び、得点を競う競技です。競技者はロボットを直接操縦をしたり、そのロボットを途中で自立型ロボットに乗せたりします。競技の内容は毎年、全国大会を行う開催県によって変わります。今年の開催県は愛知県で、名古屋市の名古屋城がある公園をコースに見立て、ロボットが公園内を一周した後、名古屋城の金の鯨までロボットが登り、金の鯨 2 か所に電球を置く競技になっています。



キャリーロボット競技

○インテリジェントロボットカーレース競技

コンピュータのプログラム等により、競技場に描かれた白テープをトレースし、折返し点に置かれた装置のスイッチを一定時間（4 秒間）押し、指定された物品（卓球ボール）を積んで再びスタート地点に戻るタイムレース競技です。



インテリジェントロボット
カーレース

○ロボット相撲（自立型）競技

土俵上で自立型ロボット 2 台が対戦し、相手を土俵外に押し出したものが勝ちとなります。また、土俵内で有効決まり手を競い、審判員の判定により勝敗を決定します。



ロボット相撲（自立型）競技

○マイコンカーラリー競技

1 回の競技で 2 台のマイコンカーが同じコースの内側（IN）と外側（OUT）のスタート位置から同時にスタートし、ゴールまでのタイムを競います。



マイコン
カーラリー競技

〔「ROBOCON IN 信州 2013」競技成績〕

・キャリーロボット競技

優勝：岡谷工業「K U I - N」

準優勝：長野工業「打射冨」

3位：飯田 OIDE 長姫「OIDE-MAX」

長野工業「陽出雪」

アイデア賞：上田千曲「進撃の千曲」

特別賞：岡谷工業「岡工 102 太郎」

・インテリジェント・ロボット・カーレース

優勝：長野工業「G 1」

準優勝：長野工業「G 3」

3位：長野工業「G 4」

アイデア賞：駒ヶ根工業「UNKNOWN」

・ロボット相撲競技

優勝：飯田 OIDE 長姫「幼姫」

準優勝：松本工業「ピグマル」

3位：岡谷工業「虚栄」

アイデア賞：岡谷工業「豪腕」

・マイコンカーラリー競技

優勝：駒ヶ根工業「朱雀」

準優勝：駒ヶ根工業「ヴァイス」

3位：駒ヶ根工業「月光」

特別賞：長野工業「Serius」、

飯田 OIDE 長姫「豹尾」

〔全国高等学校ロボットコンテスト愛知大会〕競技成績

134 チームが予選に参加し、長野県チームでは岡谷工業高校の「K U I - N」が準決勝で 21 位に入り、特別賞を受賞しました。



全国大会開会式



準決勝で競う岡工「K U I - N」

◆お問い合わせ◆

岡谷工業高等学校

岡谷市神明町二丁目 10 番 3 号

TEL(0266)22-2847

FAX(0266)21-1005

E-Mail:okako-hs@pref.nagano.lg.jp

ご存知ですか

ながのスポーツスタジアムでクラスの仲間の輪をつなぐ

スポーツ課

777回という記録を越すことができませんでした。それは、私が入るタイミングと出る場所、跳んだらすぐ出ることができなかつたからだと思います。本当にあと少しでした。でも、私は後悔していません。昨年出せなかつた650回を超し、なかなかできない700回という記録をだすことができましたからです。この記録を出せたのは、この仲間がいたからです。どんな時もカバーし合い、励ましてきたこの最高の仲間がいたからだと思います。本当にありがとう、みんな。私はこの仲間であつたよかったです。

～箕輪先生のクラスの子どもの日記より～

【信濃教育第1517号（平成25年4月）クラスで八の字ジャンプ 箕輪勝枝（大町東小）より】

ながのスポーツスタジアムをご存知ですか？

ながのスポーツスタジアムとは、本県の小・中学生がクラス単位で、いろいろな運動種目にチャレンジしたり、友達とかかわりながら運動したりすることを通して、体を動かす楽しさや記録向上の達成感を味わい、日頃から運動する習慣や、望ましい人間関係を育むことを目的に平成21年度から実施されています。

手軽な運動種目で記録に挑戦

スタジアムで挑戦する種目は、全部で6種目ありますが、「縄跳び」「馬跳び」「キャッチボール」が中心で、特に難しい技能は必要なく、用具も簡単に準備できることから、どのクラスもすぐに挑戦することができます。

県内のクラスとの競い合い

記録の申請は、記録用紙（事務局HPからダウンロード可能）を事務局にメールまたはFAXをするだけです。

およそ、毎週金曜日にスタジアムのwebページが更新されるので、クラスの記録と県内における同種目の順位を確認することができます。また、記録を更新するごとに申請することができます。申請されたクラスの記録は全て公開しますので、クラスの記録更新を目標にするのもよいですし、他校のクラスと競争することを目標にするのも楽しみの一つです。

賞状と記録証

学期毎の集計結果から、各種目の各学年上位6位までのクラスには賞状を贈っています。また、年間を通じて上位8位までのクラスにも賞状が贈られる他、参加した全学級に記録証を贈りますので、クラスの記録として残ります。

今年度の参加校と参加延べ人数（10月30日現在）

今年度の参加校と参加人数は、10月末までの半年間で、小学校は53校、のべ9,194人の児童が参加。中学校は、15校、のべ4,485人の生徒が参加しています。

申請が一番多い運動種目は、「クラスで8の字ジャンプ」で、申請数全体の9割が同種目となっています。

参加校の声

○毎回、授業参観日の際に 8 の字ジャンプの取り組みを見ていただいているのですが、子ども達の上達ぶりに、おうちの方も大変、驚かれています。一緒になって、数を数えたり声援をおくってくださいたりで、子ども達も励みになっています。

今回の記録は、その参観日のときに出すことができ、親子で喜びを分かち合う姿もありました。目指せ！600回で再び、みんなで頑張っていきたいと思います。(中信・S 小学校)

○休み時間に練習するクラスや、体育の時間に早々と後片付けをして記録に挑戦するクラスや、学活の時間に担任に直訴をして練習するクラスや、生活ノートに「大縄をするとクラスのみんなが仲良くなれる」と書いてくる生徒もいます。

本校の文化祭では、毎年、クラスで連続ジャンプをするのですが、いつまでこの熱が続くか分かりませんが…ハイレベルな戦いになるといいなあと思います。(東信・M 中学校)

ながのスポーツスタジアムの参加をお待ちしています。

ながのスポーツスタジアムの web ページは、以下の写真をクリックするとアクセスできます。



◆お問い合わせ◆

スポーツ課 学校体育係

TEL 026-235-7448

FAX 026-235-7476

e-mail:

sports-ka@pref.nagano.lg.jp

「冬の信州省エネ大作戦・2013」実施中！

教育総務課

長野県では、これまでに進んできている節電構造の更なる定着を図るため、昨年に引き続きこの冬も、県民生活や経済活動に影響を及ぼさない無理のない範囲で、特にピーク時間帯における最大電力の抑制を中心に、県民総ぐるみの運動として「冬の信州省エネ大作戦・2013」を展開しています。

教育関係者の皆さんにおかれましても、積極的な参加・協力をお願いします。

◆節電・省エネ目標

◇最大電力について

平成 22 年度比 5 %削減（約 15 万 k w 分）（昨年の目標から削減率 2 %上乗せ）
（県の機関は平成 22 年度比 7 %削減）

◆取組の期間

◇平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

◆主な取組

◇「信州あったかシェアプロジェクト」の展開

・家庭の暖房器具を止めて、身近にある元々あたたかい場所（商業施設や観光スポット等）や楽しく過ごせるイベントへ出掛けることで、暖かさを分かち合いながら節電を図るとともに、地域経済の活性化にも資する機会を拡大していくため、趣旨に合致した県内の施設や場所、イベントを広く募集し、「信州あったかシェアスポット（イベント）」として県内外に発信しています。

○実施期間 平成 25 年 10 月 15 日～平成 26 年 2 月 28 日

◇家庭における節電・省エネルギー対策

- ・信州あったかシェアスポット・イベントへお出かけ
（家庭の暖房を止めて、身近にある元々暖かい場所やイベント等へ外出）
- ・「家庭の省エネサポート制度」を活用し、省エネアドバイスや省エネ診断
- ・照明器具や冷蔵庫などを省エネ型に買い替え
- ・信州の冬野菜（根菜類・香味類）、地酒を用いた食事や、信州の伝統的な防寒具（半纏やねこ（伝統的防寒着）等）の利用により、体温を保持するなど、信州らしい取組を併せて推進する。

◆詳しくは県ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kurashi/ondanka/setsuden/shoene/index.html>

◆「大作戦」には、「学校における節電・省エネ教育の推進」も盛り込まれています。

◇節電チラシやポスターを活用して節電・省エネ教育を実施

◇校内の蛍光灯の「スイッチ切る係」の設置などの取組推進

◇PTA等を通じた取組の周知

◆学校関係者の皆さんにおかれましては特に以下の2点の取組みをお願いします。

◇節電チラシなどを活用して、節電・省エネに関する児童生徒の実践や意識高揚などを図っていただくとともに、児童生徒等を通じて、家庭に普及していくような取組。

◇教職員自らが率先して行う節電・省エネの取組。

◆学校における節電省エネ対策の参考資料

(文部科学省：学校施設における省エネルギー対策について（教職員向け）)

http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/green/080501-1.htm

「レジ袋削減県民スクラム運動」実施中！ 教育総務課

(平成 25 年 10 月 レジ袋削減協働アピールより)

長野県の豊かな自然環境を守り地球温暖化を防止することを目的として、レジ袋削減県民スクラム運動を進めてきた結果、この3月、6月調査時点でマイバッグ持参率が当初目標の60%を超えました。

昨年の「レジ袋無料配布中止の提唱」から盛り上がりつつあるこの機運を一層高め、多くの賛同者とともに、更なる上の目標に向けた行動を起こすのが今、このタイミングだと考えます。

○私たち消費者は、レジ袋を辞退し、マイバッグ等持参率の一層の向上を目指して、3年以内にマイバッグ等持参率を80%以上とすることを目標とします。

○私たち事業者は、マイバッグ等持参率のより一層の向上に向けて支援するとともに、レジ袋総使用量で前年度より減少を目指します。

○県及び市町村は、消費者や事業者の活動を積極的に支援し、共に3年以内にマイバッグ等持参率80%以上、レジ袋総使用量対前年度比減を目指します。

◆詳しくは県ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/haikibut/kurashi/recycling/shigen/regibukuro/index.html>

◆お問い合わせ◆

教育総務課 企画係

TEL : 026-235-7423

FAX : 026-235-7487

e-mai:

kyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp

イベント情報・お知らせ

11月から12月までに開催する研修講座のご案内をいたします。詳細については、当センターのHPをご覧ください。皆様の参加をお待ちしております。

タイトル	日時	実習・講座	講師
◆生涯学習推進講座 「地域で支える若者の自立」	12月5日(木) 9:40~16:00	講義:「自立に困難を抱える若者への支援」 事例発表①:「私の歩いてきた道 —不登校の日々を見守ってくれた人々—」 下平 千晶 さん 事例発表②: ・「若者が創る信濃の国再発見物語」について 原 勝人 長野県教育委員会事務局 文化財生涯学習課主任指導主事 ・「青年こそ、今、公民館に —『わかものさぼーと事業・青春始発駅』 と勤労青年意識調査の取組から—」 ・原 国人 飯田市勤労青少年ホーム館長	講師 宮本 みち子 放送大学教養学部教授
◆生涯学習推進講座 「学習を変える図書館の電子情報サービス」	1月16日(木) 9:40~16:00	講義:「国立国会図書館の電子情報サービスの現状」(仮題) 事例発表	講師 国立国会図書館 電子情報部電子情報サービス課課長補佐 竹鼻 和夫氏
◆天体観測講座 「冬のスターウォッチング」	1月7日(火)~9日(木)の観測条件のよい一日 18:00~20:00	実習:月、木星、冬の星座等の観測	講師 総合教育センター専門主事
◆パソコン講座 「チャレンジ! はじめてのパソコン」	① 1月20日(月)、21日(火) ② 1月23日(木)、24日(金)	[1日目] 実習「パソコン操作の基礎・起動」 「マウスの使い方・キーボードの操作」 「文書(Word)の作成」 時間 9:40~15:00 [2日目] 実習「文章(Word)の作成の復習」 「デジカメ撮影と写真の取り込み方」 「文書の完成と印刷」 (①、②共通) 時間 10:00~15:00	
※ 受講は無料です			

生涯学習推進センターのホームページは <http://www.nagano-c.ed.jp/shogai/> です。

◆お問い合わせ◆

長野県生涯学習推進センター
〒399-0711
長野県塩尻市片丘南唐沢6342-4
電話: 0263-53-8822 FAX: 0263-53-8825
E-mail: shogaigakushu@pref.nagano.lg.jp

[◆長野県のホームページのリニューアルに伴い、長野県教育委員会のホームページのURLが変わりました](#)

[◆新しい信州ブランド戦略の「キャッチフレーズ&ロゴマーク」と「スローガン」をご活用ください。](#)

[◆「中学生期の適切なスポーツ活動のあり方について（報告書）」に対するパブリックコメントを募集します。](#)

あしがき

メールマガジン 12月号をお届けします。

・・・寒くなりました！

時折見えるアルプスが白くなり、自家用車のタイヤを冬仕様にし、冬になるのを実感しています。

朝、手足の冷たさで目が覚めるほどの冷え性なので、その点で冬は苦手です・・・が、反面温かいものが美味しい季節でもあります。

和食なら、おでんや鍋物、洋食ならグラタンやスープ、シチューなど、たくさんありますね。

スーパーや食卓でも季節の移ろいを感じます。あれほど主張していたナスやピーマンやトマトといった夏野菜が鳴りを潜め、大根やかぼちゃ、イモ類が幅を利かせています。

先日帰省した時に、ねぎ、小松菜、青梗菜、みずな、白菜、大根をもらってきました。さて、一人暮らしでどうやって完食しようか・・・葉っぱがしおれないうちに考えなくては。 (か)